

インテリア造作材

化粧用下地壁

施工説明書

必ずお読みください

NANKAI PLYWOOD 南海プライウッド株式会社

本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

首都圏営業グループ	首都圏 第1・2・3チーム	TEL(087)825-3621	FAX(087)825-3645
東日本営業グループ	北海道・東北営業チーム	TEL(087)825-3632	FAX(087)825-3695
	関東甲信越営業チーム	TEL(087)806-3660	FAX(087)825-3645
	中部営業チーム	TEL(087)825-3622	FAX(087)825-3646
西日本営業グループ	近畿営業チーム	TEL(087)825-3623	FAX(087)825-3647
	中四国営業チーム	TEL(087)825-3624	FAX(087)825-3648
	九州営業チーム	TEL(087)825-3625	FAX(087)825-3649
特需営業グループ	特需 第1・2・3チーム	TEL(087)825-3662	FAX(087)825-3669

施工される方へ 施工前に製品をよくお確かめください。

品質管理には万全を期していますが、万一品質に不都合な点がございましたら、販売店様または弊社営業まですぐにご連絡ください。施工前の製品に限り、販売店様を通じて良品と交換させていただきます。施工後の交換、補修はいたしかねますので必ず施工前のご確認をお願いします。

ご注意

ご使用になる前に必ずこの「施工説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。間違った施工を行ないますと製品の品質劣化や損傷につながる可能性があります。本書にそわず施工・取扱を行った場合については当社での保証はしかねますのでご注意ください。

施工上のご注意



屋外禁止

内装専用の製品です。屋外での使用はできません。



キズ注意

施工時に部材表面をキズつけないようご注意ください。



水・湿気禁止

屋内でも直接水のかかる場所や湿度の高い場所での使用はしないでください。



火気厳禁

木質製品です。火気の取り扱いには充分お気をつけください。



反り・ねじれ厳禁

躯体に使用する木材は乾燥材で垂直な物を選んでご使用ください。



溶剤厳禁

溶剤・薬品・油・インク等が付着しないようご注意ください。付着した場合はすぐに拭き取ってください。放置するとシミ・変色・劣化の原因となります。

施工前の確認

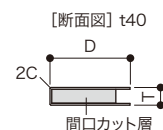
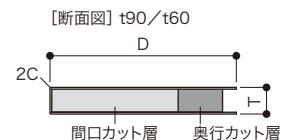
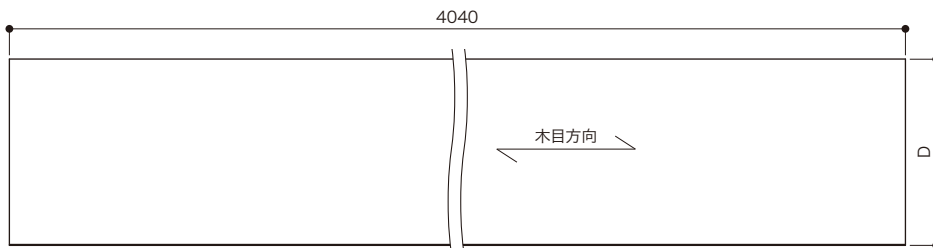
ご注意

- 本体と受棧は接着剤固定となります。
 - ① 接着剤は床貼用のウレタン系または変成シリコン系接着剤(現場調達)をご使用ください。酢酸ビニール樹脂系不可。周辺に接着剤がつかないように養生をしっかりと行ってください。塗布量目安:ノズル穴径6mmで1列
 - ② 硬化まで最低24時間必要なため、ビスなどで仮固定、養生してください。
- 施工はクロス貼り前に行なってください。
- 受棧および本体取付位置には12mm厚以上の下地合板による補強が必要です。
- 受棧への差込施工のため、両壁納めの場合は手前スペースに本体奥行の2倍の空間が必要になります。
- t90、t60に関しては、本体奥行カットは-100mmまで対応です。

寸法単位:mm

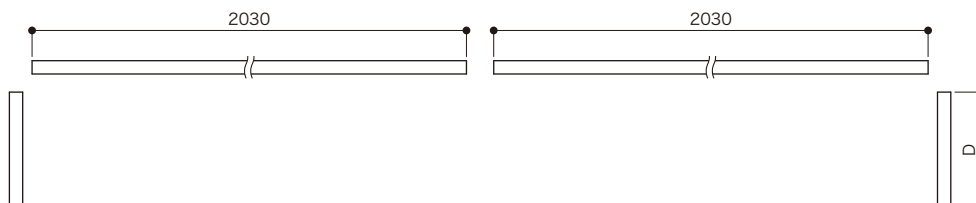
詳細図

■ 本体
[上面図]



t90=W4040/D500/T90
t60=W4040/D420/T60
t40=W4040/D180/T40

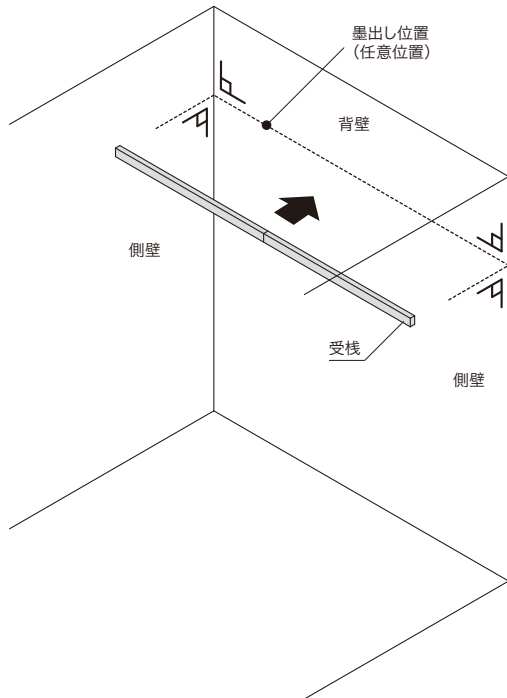
■ 受棧
[上面図]



t90=W2030/D460/T30/H81
t60=W2030/D380/T30/H51
t40=W2030/D140/T30/H31

折り上げ天井として取り付ける場合の施工手順

1 受棧の取り付け方法

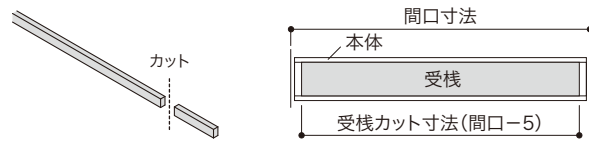


① 取り付け位置の墨出し

任意の位置に受棧取り付け位置を墨出ししてください。(本体上面位置-4mm)

② 受棧のカット

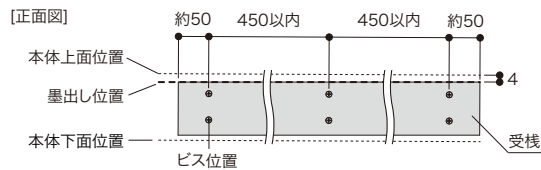
受棧を間口寸法-5mmでカットしてください。



③ 背壁へ受棧取り付け

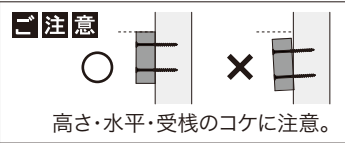
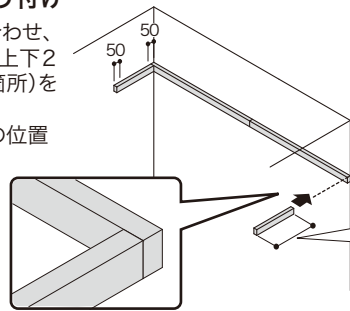
同梱のビスL=65で上下2箇所(t40は中心1箇所)を固定します。

両端は側壁から約50mmの位置で固定、その他は450mmピッチ以内で固定してください。



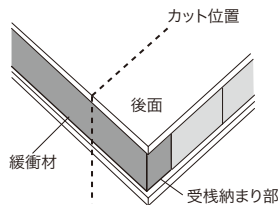
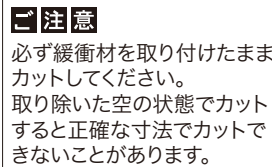
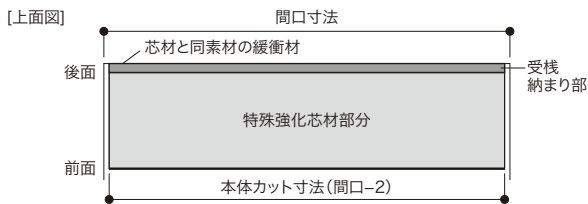
④ 側壁へ受棧取り付け

背壁の受棧に突き合わせ、同梱のビスL=65で上下2箇所(t40は中心1箇所)を固定します。両端から約50mmの位置で固定してください。

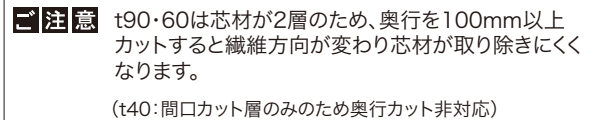
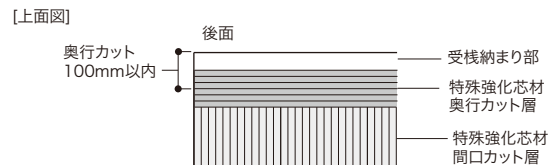


2 本体のカット方法

間口 本体を間口寸法-2mmでカットします。出荷時装着されている芯材と同素材の緩衝材を付けたままカットしてください。

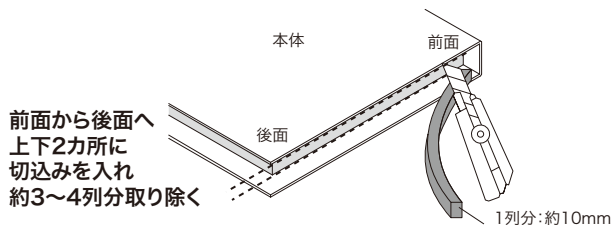


奥行 奥行カットが必要な場合は、取付奥行に合わせてカットします。t90・60は100mmまで対応。カット後は、受棧納まり部を作るため芯材を取り除きます。(3参照)

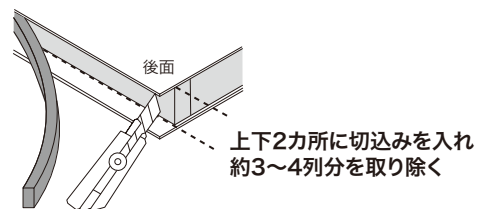


3 特殊強化芯材の取り除き方法

間口 受棧納まり部を作るため、特殊強化芯材を1列分毎に前面から後面方向・上下2カ所にカッターで切込みを入れ、前面方向に受棧寸法分の約3~4列を取り除いてください。



奥行 奥行カットをした場合は、後面に受棧納まり部を作るため、上下に切込みを入れ、3~4列分を取り除いてください。



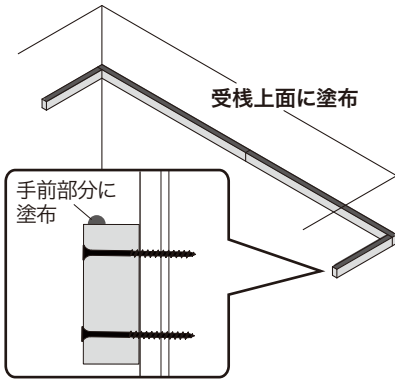
注意 それぞれ受棧端材を当て、サイズを確認しながら行ってください。取り除き面はカッター等で削り平滑にしてください。

折り上げ天井として取り付ける場合の施工手順

4 本体の取り付け方法

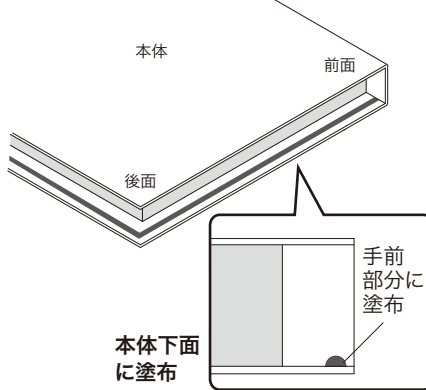
① 受棧部 接着剤塗布

受棧上面部分・手前側に接着剤(現場調達)を塗布します。



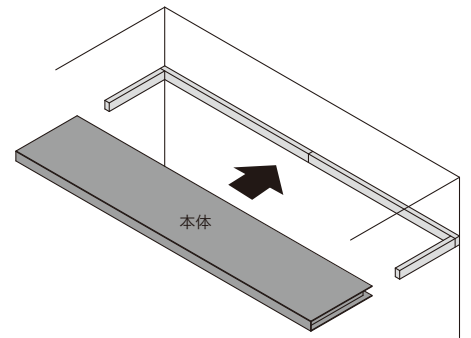
② 本体部 接着剤塗布

本体下面部分・手前側に接着剤(現場調達)を塗布します。



③ 本体取り付け 完成

受棧にそって本体を差し込み、はみ出した接着剤をウエスなどできれいに拭き取ってください。水平器で水平確認を行ないビスなどで仮固定し、最低24時間静置・養生してください。

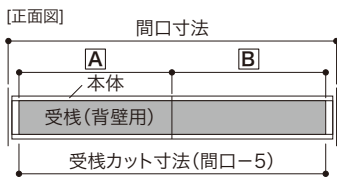


折り上げ天井として取り付ける場合の施工手順(間口を延長する場合)

1 受棧の取り付け方法

① 受棧のカット

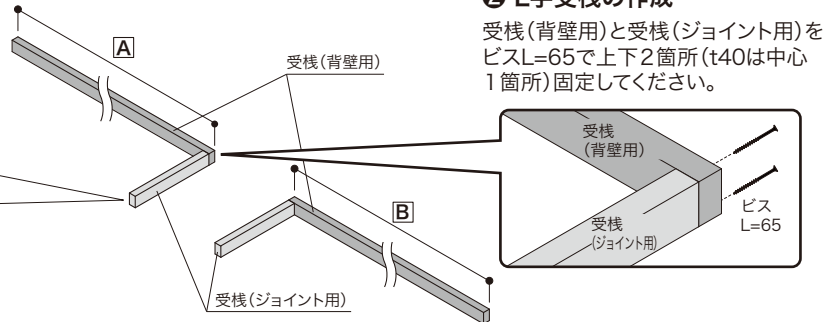
間口寸法を測り、 $[\text{間口}-\text{A}-\text{B}]=5$ となるように、**A**、**B**の寸法を決定、カットしてください。



注意

本体を奥行カットして使用の場合は、受棧を本体奥行-40mmでカットしてください。

例=t90:奥行500mm
奥行を50mmカット→
本体奥行:450mm
この場合:
受棧は-40mmの
410mmにカット

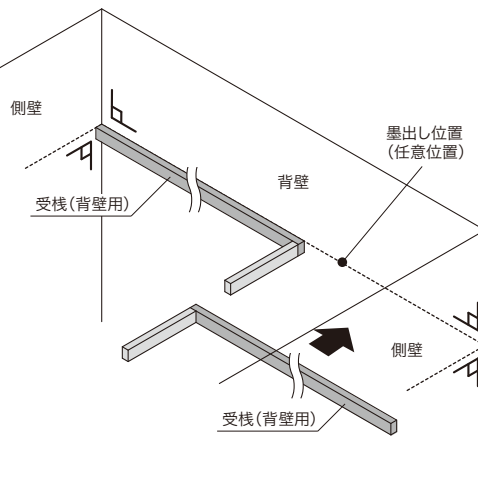
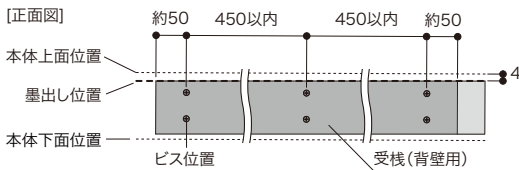


② L字受棧の作成

受棧(背壁用)と受棧(ジョイント用)をビスL=65で上下2箇所(t40は中心1箇所)固定してください。

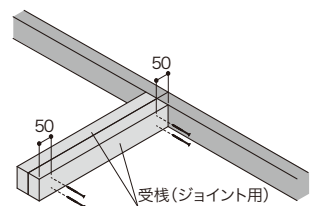
③ 背壁へL字受棧取り付け

受棧(背壁用)を同梱のビスL=65で上下2箇所(t40は中心1箇所)固定します。両端は約50mmの位置で固定、その他は450mmピッチ以内で固定してください。



④ L字受棧を連結

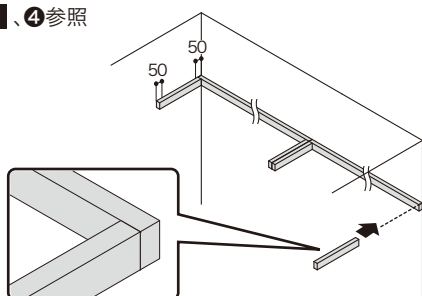
受棧(ジョイント用)をビスL=65で上下2箇所(t40は中心1箇所)固定します。両端は約50mmの位置で固定してください。



⑤ 背壁へ受棧取り付け

折り上げ天井として取り付ける場合の施工手順

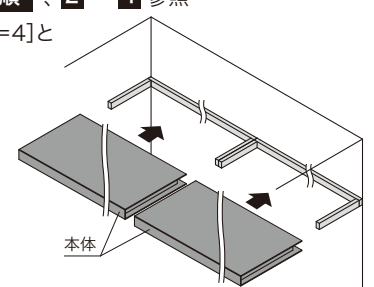
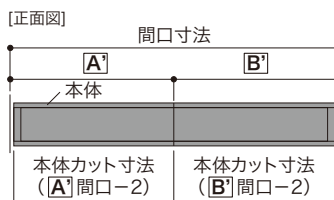
1、4参照



2 本体のカット、取り付け方法

折り上げ天井として取り付ける場合の施工手順、2~4参照

※本体をカットする際は、 $[\text{間口}-\text{本体全体寸法}]=4$ となるように、本体の寸法を決定してください。



折り上げ天井として取り付ける場合の施工手順 (L型の場合)

① 受棧の取り付け方法 ②

① 受棧(框用)の作成
受棧(框用)はL=2030を本体奥行-10mmにカットして作成してください。

② ①本体へ受棧(框用)取り付け
受棧(框用)を同梱のビスL=65で上下2箇所(t40は中心1箇所)固定します。
奥側は①の受棧に向かってビス打ちしてください。

注意
高さ・水平・受棧のコケに注意。

L型に組む場合は①(3方壁固定側)の取り付けから行ないます。①の施工手順は「折り上げ天井として取り付ける場合の施工手順」をご覧ください。
①の施工が完了後、②の受棧取り付け位置を墨出しし、以下の手順で取り付けを行ってください。

③ 壁面へ受棧取り付け
受棧(框用)に突き合わせ、同梱のビスL=65で上下2箇所(t40は中心1箇所)を固定します。
両端から約50mmの位置で固定、
その他は450mmピッチ以内で固定してください。

注意
本体を奥行カットして使用の場合は、受棧を本体奥行-40mmでカットしてください。
例=t90:奥行500mm
奥行を50mmカット → 本体奥行:450mm
この場合:受棧は-40mmの410mmにカット

受棧(背壁用)を取付間口寸法-35mmでカットしてください。

2 本体のカット方法

折り上げ天井として取り付ける場合の施工手順、2 参照

3 特殊強化芯材の取り除き方法

折り上げ天井として取り付ける場合の施工手順、3 参照

4 本体の取り付け方法

① 受棧部 接着剤塗布
受棧上面部分・手前側に接着剤(現場調達)を塗布します。

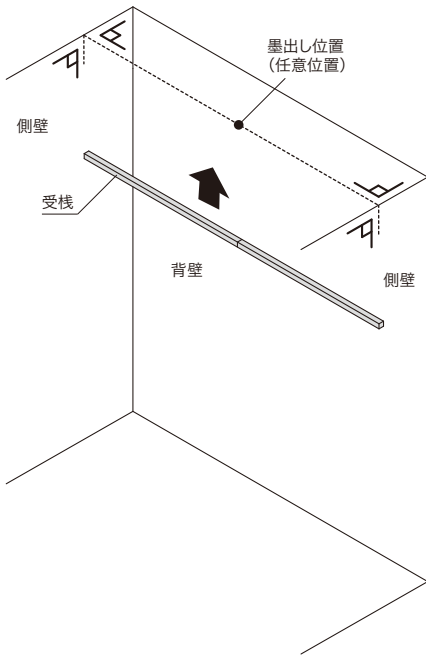
② 本体部 接着剤塗布
本体下面部分・手前側に接着剤(現場調達)を塗布します。

③ 本体取り付け 完成

受棧にそって本体を差し込み、はみ出した接着剤をウエスなどできれいに拭き取ってください。
水平器で水平確認を行ないビスなどで仮固定し、最低24時間静置・養生してください。

垂壁/幕板として取り付ける場合の施工手順

1 受棧の取り付け方法

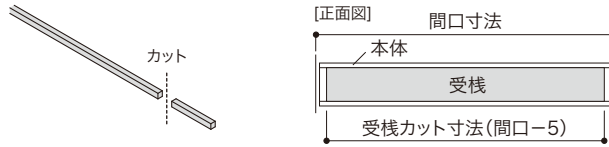


① 取り付け位置の墨出し

天井の下地を確認し、施工が可能な任意の位置に墨出ししてください。(本体外面位置-4mm)

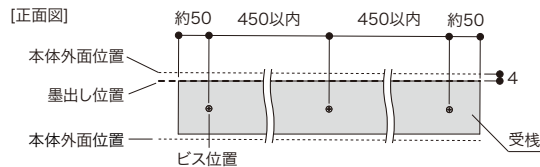
② 受棧のカット

受棧を間口寸法-5mmでカットしてください。



③ 天井へ受棧取り付け

同梱のビスL=65で中心1箇所を固定します。両端は側壁から約50mmの位置で固定、その他は450mmピッチ以内で固定してください。

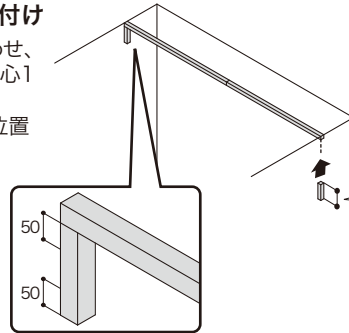


注意

高さ・水平・受棧のコケに注意。

④ 側壁へ受棧取り付け

天井の受棧に突き合わせ、同梱のビスL=65で中心1箇所を固定します。両端から約50mmの位置で固定してください。



注意

本体を奥行カットして使用の場合は、受棧を本体奥行-40mmでカットしてください。

例=t90:奥行500mm
奥行を50mmカット → 本体奥行:450mm
この場合:受棧は-40mmの410mmにカット

2 本体のカット方法

折り上げ天井として取り付ける場合の施工手順、2 参照

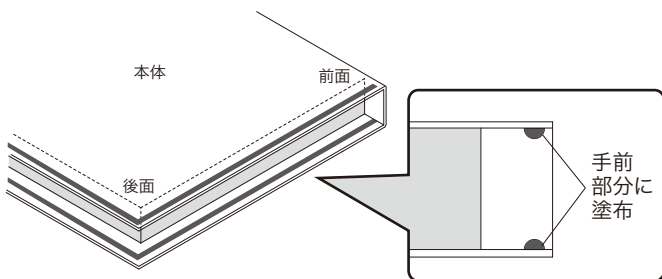
3 特殊強化芯材の取り除き方法

折り上げ天井として取り付ける場合の施工手順、3 参照

4 本体の取り付け方法

① 本体部 接着剤塗布

本体内側・手前側に接着剤(現場調達)を塗布します。

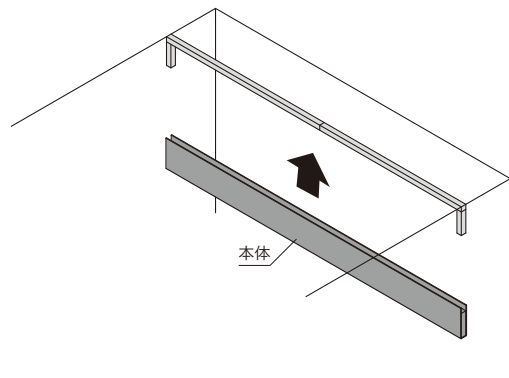


② 本体取り付け 完成

受棧にそって本体を差し込み、はみ出した接着剤をウエスなどできれいに拭き取ってください。

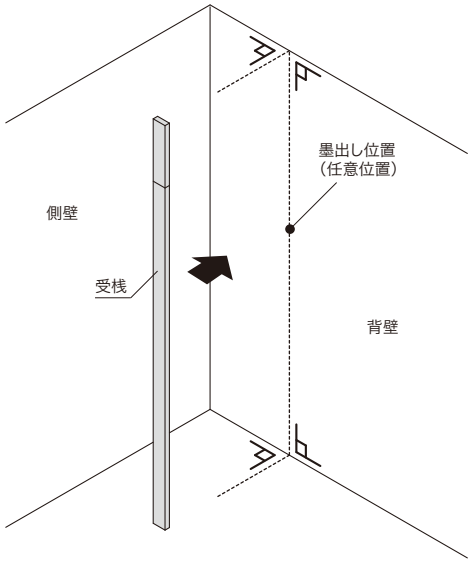
注意 接着剤の垂れにご注意ください。

ビスなどで仮固定し、最低24時間静置・養生してください。



小壁/袖壁として取り付ける場合の施工手順

1 受棧の取り付け方法

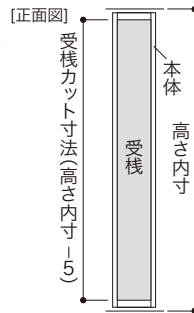
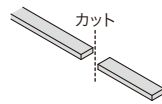


① 取り付け位置の墨出し

背壁の任意の位置に受棧取り付け位置を墨出ししてください。(本体外面位置-4mm)

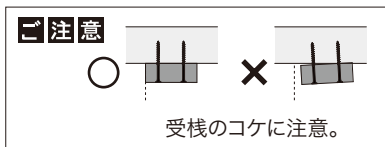
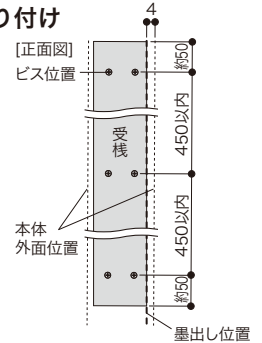
② 受棧のカット

受棧を高さ内寸-5mmでカットしてください。



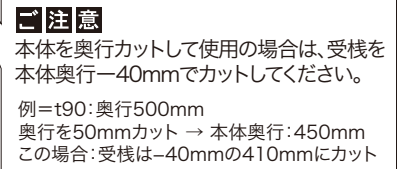
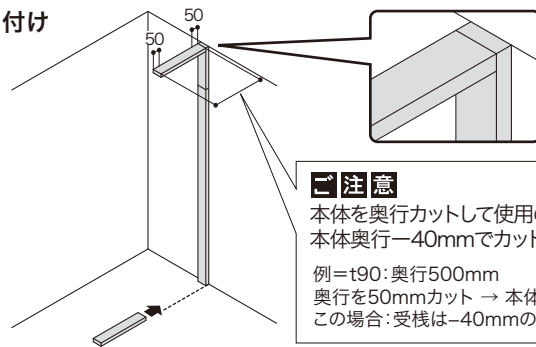
③ 背壁へ受棧取り付け

同梱のビスL=65で左右2箇所を固定します。両端は約50mmの位置で固定、その他は450mmピッチ以内で固定してください。



④ 天井・床へ受棧取り付け

背壁の受棧に突き合わせ、同梱のビスL=65で左右2箇所を固定します。両端から約50mmの位置で固定してください。



2 本体のカット方法

折り上げ天井として取り付ける場合の施工手順、2 参照

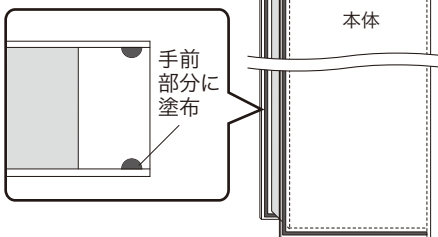
3 特殊強化芯材の取り除き方法

折り上げ天井として取り付ける場合の施工手順、3 参照

4 本体の取り付け方法

① 受棧部 接着剤塗布

本体と受棧の接合部に接着剤(現場調達)を塗布します。

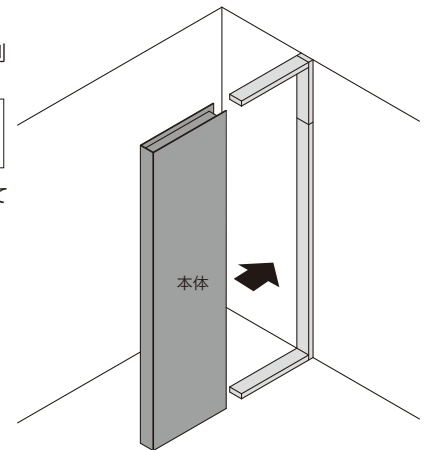


② 本体取り付け 完成

受棧にそって本体を差し込み、はみ出した接着剤をウエスなどできれいに拭き取ってください。

注意 床面への接着剤はみ出し・差込時のすりキズに注意してください。

ビスなどで仮固定し、最低24時間静置・養生してください。



建築基準法に基づくホルムアルデヒド発散等級

製品名:インテリア造作材
化粧用下地壁

製造者名称:南海プライウッド(株)

発散区分:F☆☆☆☆

ロット番号:製品梱包に記載

- 構成材料 -

部材・部位	材料名	表示区分	認定・登録種類	認定・登録番号	認定登録機関
化粧用下地壁	ハニカムコア・防湿シート貼り MDF ボード	F☆☆☆☆	自主表示登録	K-002836	(一社)日本建材・住宅設備産業協会

注意

この用紙は建築基準法に基づく納入部材の確認書類となりますので、大切に保管して工事責任者へ渡してください。

問合せ先:品質保証グループ 087-894-8025